



2016年度2次隊幼児教育でトンガに派遣されています。トンガに来てようやく3ヶ月が経過しました。少しずつトンガ語も聞きなれ、“Saipe(サイペ)”=大丈夫 という台詞をよく聞きます。車をぶつけても“Saipe”何事も笑って済ませるのがトンガです。これから皆さんにも少しずつトンガのことをお伝えできたらと思います。

トンガは南太平洋に位置し、人口およそ10万人程の小さな国です。公用語はトンガ語、英語で99%の人々と言っていいほどのほとんどの人がキリスト教です。日本の支援も沢山入っており、日本の国旗を見かけることをよくあります。



11月は卒業シーズンでした。トンガでは教会が幼稚園を運営していて、私が属しているフリーウェズリアン教会は29園ほどの園を運営しています。私の活動内容は首都を中心に幼稚園を巡回訪問指導したり、教員向けにワークショップを開催したりするのが活動内容になっていますが、赴任してすぐに卒園式を迎えてしまい、12月、1月は夏休みで、1月の最後の週から新学期が始まります。各教会にそれぞれのカラーがあり、フリーウェズ



卒園証書を披露する子ども

リアン教会は青と白を基調にしているため、制服も同じ青と白で、卒園式の飾りつけも同色です。卒園式当日、子ども達は、制服の上に伝統衣装の腰巻(タオバラ)を巻き、家族が手作りした花の首飾りを首に巻いたり、式の途中ではサララップでお菓子を包んだものを、首にかけたりします。

うたを歌ったり、卒園証書を受け取ったりと大体の流れは日本と同じですが、お祈りで始

まり、お祈りで終わることや子ども達が聖書の一節を読み上げたりすることはキリスト教徒ならではのですね。なぜか分かりませんが、全ての幼稚園で家族が用意したクリスマスプレゼントも教会の聖職者から手渡しされます。



幼稚園の先生と♪

さて、トンガは日本と季節が間逆で、今は真夏です。昨年の12月、私は始めて夏のクリスマスを経験しました。まずは、幼稚園のクリスマスパーティー。仮設テントとステージを作り、家族で料理を持ってでかけます。パーティーではアロハシャツやドレスを着るのが決まりで、家族揃ってお揃いの服装をしま



幼稚園の X'mas party

す。ステージでは子どもが伝統衣装を着て歌やダンスを発表したり、劇をしたりするのですが、大人がステージに上がり賞賛として子どもにお金を貼っていきます。南国ならではの陽気なリズムの音楽が流れると、みんなが大笑いしながら躍りだします。また、クリスマス当日はいつもよりも少し豪華に伝統衣装を着飾って教会へ行き、それぞれの家を風船等で少し飾り、いつもよりも豪華な料理を食べて家族と過ごすのがトンガ流です。



クリスマス当日